

【南区】令和 7 年第 3 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和 7 年 9 月 5 日（金） 10 時 00 分～11 時 00 分
場 所	南区役所 7 階 701～703 会議室
出席者	<p>【座 長】熊本ちひろ議員</p> <p>【議 員：2 名】高田修平議員、仁田昌寿議員</p> <p>【南 区：24 名】高澤和義区長、濃野誠副区長、 大塚貴司福祉保健センター長、 鈴木陽子福祉保健センター担当部長、 藤江千瑞土木事務所長、柴田尚正南消防署長（災害対策 担当部長）ほか関係職員 19 人</p>
議 題	<p>1 令和 6 年度 南区個性ある区づくり推進費の実績について</p> <p>2 令和 7 年度 南区個性ある区づくり推進費の執行状況について</p> <p>3 令和 8 年度 南区個性ある区づくり推進費の予算編成の考え方について</p>
発言の 要 旨	<p>議題 1 「令和 6 年度 南区個性ある区づくり推進費の実績について」 議題 2 「令和 7 年度 南区個性ある区づくり推進費の執行状況について」</p> <p>《副区長による説明》</p> <p>【熊本議員（座長）】 説明が終わりましたので、質疑および意見交換に入ります。ご発言のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>【高田議員】 何点かお伺いさせていただきます。</p> <p>1 点目が、25 ページの魅力発信事業のポータルサイトについて、みどころマップは準備中となっていますが、いつ頃作成される予定でしょうか。</p> <p>2 点目が、36 ページの脱炭素行動 P R 事業の中で、GREEN×EXP02027 の機運醸成に取り組まなければいけないと思っています。大岡川プロムナードの桜が一つの魅力となっているため、GREEN×EXP02027 の機運醸成に取り組むとともに、プロムナードの魅力を県外にも発信することが、多くの方に来ていただく良いきっかけになると思います。その点は GREEN×EXP02027 の事業の中で、どのように力を入れているのでしょうか。</p> <p>3 点目は 41 ページです。10 月 13 日に開催される新規の生活ガイダンスについて、どのようなものか教えてください。</p> <p>最後 4 点目です。同ページの外国人ボランティア向けの研修会について、昨今の世論や情勢の中で、外国籍の方を排他する考えがある中で、外国籍の方にも地域に根付いていただくために、ボランティア活動や、また</p>

発言の
要 旨

町内会に入っていただくといった事業を強化していく必要があると思いますが、その点についてお伺いさせていただきます。

【黒田 区政推進課長】

ポータルサイトに実装予定のマップの見通しと、脱炭素事業におけるプロムナードの発信の考え方の2点について、回答させていただきます。

まず1点目の、ポータルサイトへのデジタルマップの機能実装は、現在準備中であり、年度内のリリースに向けて今後進めてまいります。

また、2点目の脱炭素事業におけるプロムナードの発信について、大岡川の桜の魅力というものは、ご指摘の通り、県内外に発信していく南区の貴重な魅力、資源と認識しています。現時点では、GREEN×EXP02027の機運醸成と関連付けた発信は行っておりませんが、桜の時期には、ポータルサイトで開花情報のお知らせや、民間の桜情報サイトと情報連携等も含めて、広くこの南区の魅力の発信に取り組んでいます。GREEN×EXP02027の機運醸成との関連付け方については、今回いただいたご意見も踏まえて検討してまいります。

【中野 地域振興課長】

3点目の南区外国人住民のための生活ガイダンスについて、これまで集住地区で、ごみの捨て方や救急車の呼び方などの生活のルールを知っていただくガイダンスを行ってまいりました。昨年、デジタルプラットフォームの中でもご意見をいただいたこともあり、同じように生活のルールを知っていただく内容のガイダンスを、今回は集住地区以外の方も参加できるように実施を予定しています。

4点目の外国人ボランティアについてです。こちらは、外国籍の青少年が在学する区内の高校や大学等を中心にボランティアの募集を行い参加していただいた方に、自分たちでいろいろな企画をしていただきます。直近では、南吉田小学校のキッズに出向いて、どんなことができるか、小学生とそのボランティアの子たちが一緒に考えて企画をするというものです。

また、その他にもボランティアとして200人以上の登録があり、その方々に日本語の学習ボランティアなども行っていると思います。

【高田議員】

ガイダンスについては、集住地区以外の方にも参加いただくとのことですが、外国人のコミュニティへのアプローチについて、以前の会議で仁田議員からもご質問がありました。今後外国人のコミュニティへのアプローチについてどのように考えているかお伺いさせていただきます。

【中野 地域振興課長】

外国籍の方のコミュニティについて、小さいコミュニティはこちらでもまだ把握はしていませんが、国際交流ラウンジが留学生会館等と繋がっており、集住地区の中のコミュニティの方々とは既に繋がっていますので、その方々から外国籍の方に繋いでいただいています。現に寿東部地区では自治会の役員や、消防団への参加も始まっております。

発 言 の
要 旨

【高田議員】

42 ページの地域人材発掘・育成事業ともつながってくると思っており、今後、南区で増やしていかなければいけないと自分なりに使命を感じています。今の世論に負けないように、南区はしっかりと外国籍の方と共生してやっている、南区らしく、人・人情・義理を重んじるまちをすすめたいと思いますので、地域人材発掘・育成事業と連携しながら、力を入れていただきたいと思っております。

最後にもう 1 点、地域交通の拡充が横浜市の中で行われ、おたろくバス、おでかけ号とできましたが、今後根付いていくために、例えば地域のバス停が分かりにくいなどの課題に、区としてどのようにサポートしていくのかを教えてください。

【黒田 区政推進課長】

市として進めている、地域のおでかけ事業への区の支援について、すでにご案内の通り、区内でも 2 地区で実証運行が始まっているところです。都市整備局の事業・制度を使っており、局の関わりが中心ではありますが、区としてもこの地域の組織作りのサポートや、実際に運行を始めてみての課題に対しての困り事の相談といった日常的な伴走支援の面で関わっています。特に、運行が始まった当初は地域の中でも知られていない、分かりづらいといったお声もいただきましたので、運行主体となっている地域の皆さんとも相談しながら、例えば、時刻表を作って各戸配布の実施や、運行経路の見直しについての話し合いのお手伝いのほかに、区のホームページのトップページから各取組のページにリンクを貼ることで、少しでも情報が届くようなサポート等もさせていただいています。また、区の持っている大きなツールとしての広報よこはま南区版において、時期を捉え取組をご紹介しますなど、少しでも多くの方に知っていただき、利用につなげていけるようにサポートをしてまいります。

【三縄 土木事務所副所長】

2 つ目にご質問いただきました、GREEN×EXP02027 の機運醸成について、土木事務所でも頑張っていきたいと考えております。令和 7 年度で 3 年目になりますが、「公園愛護会&ハマロード・サポーターのつどい」として、花植えの講習会を予定しております。このイベントを GREEN×EXP02027 の機運醸成につなげていきたいと考えております。また、今年度初の取組になりますが、歩道橋や公園に横断幕を掲げていきたいと考えています。

【高田議員】

平時にも来ていただきたいとは思っておりますが、大岡川プロムナードには桜の時期に 1 番人が来るため、来年、再来年の人が来る桜の時期は、GREEN×EXP02027 を P R をする場にもなると思いますので、しっかりと P R していただきたいと思っております。

【仁田議員】

何点か確認とお考えを伺えればと思います。

発言の
要旨

最初に、令和6年度の執行実績、4ページについて教えてください。
魅力発信事業について、ガイドマップの作成と配架場所数の見直しに伴い委託料が残ったということですが、見直し内容についての質問です。魅力発信事業に関しては積極的に進めていくことが必要と思っており、見直しを行ったというとは、配架場所を減らしたという懸念があり、それによって発信力が低下したのか教えてください。

【黒田 区政推進課長】

従来、南区の紹介を紙のリーフレットで作成し、駅のラック等に配架をしていました。ガイドマップ作成及び配架場所数の見直しは、6年度に魅力発信のポータルサイトや電子媒体、ウェブで確認できるような環境も整えましたので、順次そちらへのシフトをしていくことも含めて、紙媒体の見直しをさせていただきました。

発信力の低下につきましては、ポータルサイトの効果も検討しながら、紙媒体とウェブ媒体をどのように活用していくことが最適なのかを、引き続き考えてまいりたいと思います。

【仁田議員】

ペーパーレス化が言われて何十年も経過し、昨今、AIをはじめとするデジタル化の流れは急速に進んでいるものの、紙も素晴らしい特性を持っていると考えています。一つのモデルケースと思いますが、他の事業への展開も含めて、大事な検討だと思いますので、考え方について決まったものがあれば、改めて教えていただきたいと思います。

続きまして、14ページについて、従前からの課題ではありますが、主な増減理由にあるように減災対策支援事業の家具転倒防止器具、ガラス飛散防止フィルムや感震ブレーカー設置数がなかなか思うように進んでいないと思います。6年度の実績を参考にした改善点や工夫、また今年度の見込みを教えてください。

【小田川 総務課長】

先生がおっしゃる通り、従来からの課題ということで、今年度は、今までやっていなかった工夫として、3点取り組みました。

1点目として、ご案内のパンフレットについて、新たにイラストや、写真を使って、より分かりやすくしました。

2点目として、これまで配架しておりませんでした市民利用施設への配架を今年度新たに実施しました。

3点目として、今月の取組になりますが、高齢者の方への周知として、区労連の会議にて、資料の説明、制度の周知について協力をお願いさせていただく予定です。

なお、現在の申請の状況は、令和7年8月末現在で、家具転倒防止器具は9件、ガラスは残念ながらまだ0件、感震ブレーカーは223件となっております。

【仁田議員】

今の9件、223件、ガラス飛散防止フィルムは残念ながら申請がないわけですが、この評価はどのようにお考えですか。

発言の
要 旨

【小田川 総務課長】

感震ブレーカーに関しましては、南区は重点対策地域もあるため、進めていきたいと考えておりますので、223 件は、大変お申し込みいただいたと思っております。

ただ一方で、目標の数値に対して区の中で十分に設置されているかと言いますと、引き続き周知をしていかなければならないと考えています。地震防災戦略の目標もあり、達成に向けて、周知を緩めることなく、引き続き取り組んでいきたいと考えております。

その他の補助につきましても、さらに工夫できることがないかなど、引き続き考えていきたいと思っております。

【仁田議員】

34 ページの各種補助事業の啓発に使用するチラシの作成について、先ほどのイラストや写真などの説明はこのチラシのことと思います。申請数の向上を図る取組について、先ほどの 3 点に加えて、家庭での防災対策を推進する講演を 6 月に 1 回行っているということですが、今後の開催予定はないのでしょうか。

【小田川 総務課長】

講演会の開催予定はございませんが、全体的な啓発としてイベント、出前講座などを行い、引き続き周知に努めてまいりたいと考えております。

【仁田議員】

16 ページの令和 6 年度で放置自転車対策事業における、自転車等マナーアップ監視が道路事業に移管されたことに伴う、という記載がございますが、自転車マナーアップで何を学ぶのか、何を進めようとしているのか、確認をさせてください。

【中野 地域振興課長】

この自転車等マナーアップは、自転車を置きっぱなしにしないというマナーを向上させることが放置自転車対策になっています。

【仁田議員】

事業が道路局に移管されたことで、現場は区ではありますが、区の関わりは特になくなる、もしくはなくなったということですか。

【中野 地域振興課長】

この事業そのものについては区の関わりがなくなりましたが、引き続き、シルバーリーダーの方、交通部長等と一緒に啓発事業を行っていきます。

【仁田議員】

引き続きそれは是非お願いしたいと思います。また、従前も申し上げている歩道を走行する際のマナーや乗り方についての啓発というのが難しいとは思いますが、多くの心配の声が寄せられています。道路交通法が改

発言の
要 旨

正され、令和6年の公布から令和8年の適用までに、様々な意見の募集があり、どういう規制にすべきかが検討されていると思います。

来年に向けて、今年の秋が大事な1つのポイントと思いますが、区として令和7年度に進めようとしている具体的なことはありますか。

【中野 地域振興課長】

先生がおっしゃる通り、令和8年4月から自転車の交通反則通告制度、いわゆる青切符制度が始まります。例えば中高生向けのスケアード・ストレイトの教室の中で、これまでは視覚に訴えて危ないということを伝えてきましたが、併せてどのような違反になるのかということを啓発していきたいと考えております。

対象が16歳からであり、中学生にもうすぐ対象になること、高校生に対しては既に対象になっていることについてチラシを作成し、一緒に啓発していきたいと思っております。

【仁田議員】

以前に例示してご紹介しましたが、昼間活発に行動される子育て世代の乗り方について、心配の声が比較的多くでています。

一方で、この道路交通法の改正によって、歩道を走ってはいけないという規制も一部導入されますが、子供を乗せて車道を走ることは怖くて出来ないという心配の声も寄せられました。そのような懸念があるため、何をしたら違反になるのか、安全のためにどうすべきであるかを啓発することが、来年施行に向けてとても大事であると思います。

道路局が、冊子の改正などを考えていると伺っておりますが、現場の区として何か具体的に考えていることはありますか。

【中野 地域振興課長】

以前に先生から子育て世帯の啓発はどうするのか、というご意見もいただきましたので、今年の7月の夏休みに入る前に、親子で自転車の乗り方について考えていただくことを目的に、広報よこはまの一面に、自転車の乗り方についてのクイズを掲載しました。また、園児と保護者向けに幼稚園で交通安全教室を行い、保護者の方も一緒に受けていただく取組を行っています。

昨年は2園で保護者向けの啓発を行いました。今年は交通安全教室の申込をいただいている9園全ての園に保護者向けの啓発を実施できるよう、声掛けを行っております。

【仁田議員】

ぜひ積極的に取組をお願いしたいと思います。

もう1点、34ページの防災啓発事業について、昼間に地域にいる最大のマンパワーである中学生が防災意識を持ち、実際に発災の時に活躍することは大いに期待をするところです。中学生を対象にした、防災意識の啓発の講座は、学校単位または地域防災拠点単位で開催されているのでしょうか。また、受講されている生徒数を教えてください。

発 言 の
要 旨

【小田川 総務課長】

中学生向けの講座につきましては、先生のおっしゃる通り、将来の地域防災活動の担い手ということで、育成目的で実施しました。令和6年度は、蒔田中学校と南が丘中学校の2校で合計678人の方に受講をしていただきました。今年度は現在調整中の部分もございますが、3校で実施を進めていきたいと考えております。また、今までは授業の制約上で、一部の生徒しか、体験に参加ができなかったため、令和7年度には新たな取組として、体育館での区割りや、マンホールトイレの組立てなどを重視した事業の実施に向けて学校と調整を進めたいと考えています。

【仁田議員】

昨年度の2校と今年度3校で進めているとのことで、できるだけ全校に行き渡るよう、さらなる取組をお願いします。

【熊本議員（座長）】

7ページのすこやか子育て支援事業で障害児地域交流活動推進事業におけるイベントへの参加希望減に伴う補助金の残が多く出ています。医療も発達しており、障害も様々な種類で診断されることが多くなっているため、障害児を持つ親御さんが増加していると聞いております。そういった親御さんから地域の方に助けられつつも、孤独や不安を感じているという声を聞いており、このようなイベントの参加希望者が減少していることは課題であると思いますのでどのように啓発などを行っているのか教えてください。

【横森 こども家庭支援課長】

この事業は余暇支援について運営委員会形式で実施していましたが、参加者が減少したことの原因の1つはコロナの影響です。

先生からもありましたように、障害のある親御さんの孤独感などの課題はありますが、余暇支援についてはやり方を再検討するため、令和5年度に事業の方向性について運営委員会、地域活動ホーム、社協、当事者なども入れて、検討した結果、この事業は令和6年度で終了しております。

ただ、余暇支援については、地域活動ホームや放デイなどいろいろな機会があり、そこでカバーができると考えております。区役所としては、補助金は終了しましたが、いろいろな相談には随時加わり、オブザーバーとして、社協と協力して支援を行っていきます。

南区には障害がある方が多数いらっしゃいますが、障害児支援には様々な制度があるので、制度につなげながら、地域の中で支え合う方法について、いろんな場面で地域の方や、ボランティアの皆さまと話をしていきたいと考えております。

【熊本議員（座長）】

余暇支援の予算が終了ということは承知しました。一方、余暇支援ではありませんが、障害児の保育園や幼稚園の入園について、制度では幼稚園や保育園が障害児を受けられるように決まっていますが、実際にはなかなか

<p>発 言 の 要 旨</p>	<p>か受け入れ先が見つからないなど現場が制度に追いついていない、また、人手不足などが原因で制度に苦しめられている現場があるということも聞いております。障害児を持つ親御さんや現場の声も聞きながら、何かできる支援について、改めて予算を組んでいただきたいと思います。</p> <p>【野池 学校連携・こども担当課長】</p> <p>障害児や医療的ケアが必要なお子さんの保育所への入所について、区としては予算立てをしておりませんが、こども青少年局で、障害児の入所を進める保育園には、保育士などを雇用するための補助制度を設けております。</p> <p>また医療的ケアが必要なお子さんにつきましては、民間の保育園等に補助金を交付し看護師を雇用していただき医療的ケアが必要なお子さんの保育所入所を進めています。また、医療的ケア児サポート園制度をこども青少年局で進めています。区としましては、専門職である保健師や社会福祉職が、窓口の相談を通じてご家庭の状況等を把握し、保育所入所調整をする職員と連携しながら、保育所への入所調整を図っております。</p> <p>【熊本議員（座長）】</p> <p>保育園だけでなく、幼稚園の支援はあるのでしょうか。</p> <p>【野池 学校連携・こども担当課長】</p> <p>幼稚園については、県の所管となり、把握しておりません。調べましてお答えさせていただきます。</p> <p>【熊本議員（座長）】</p> <p>私も勉強いたします。</p> <p>もう1点、30ページの健康づくり推進事業において、9月から11月にかけてユーチューブ、インスタ、ラインで、プッシュ型の情報発信を行うとのことで、前回の区づくり推進会議でも質問させていただきました。ユーチューブで、推し活をメインにした若者向けの健康の動画を南区内で発信されていると思います。私も拝見いたしまして、視点は面白いと思いましたが、抽象的すぎて、なかなか健康の大事さが伝わってこないと思いました。規則正しい生活をして、元気に過ごして、推しに会いに行きましょう、のような感じだと思っておりましたが、もう少し細かい部分まで具体的に情報発信していただけたらいいのではないのでしょうか。</p> <p>【御小柴 福祉保健課長】</p> <p>健康の大事さが伝わってこないということについて、確かに30秒、15秒という短い時間での伝え方については非常に悩み、今回の動画は、まずは「何だろうこれ、健康づくりって自分にも関係があるのかな」と関心を持っていただくというのを1つの目標に作成しております。また、「何だろうこれ」と思った時に、「「南区健康づくり」と検索してね」と最後に呼びかけ、そちらにアクセスをしていただくと、先生がおっしゃった様々な日常生活、食生活、運動や健康診断等の情報をお届けできるような仕組みになっています。</p> <p>ただ、検索してアクセスとなると、ハードルが上がりますので、引き続</p>
----------------------	--

発言の
要旨

き、いろいろな世代の方に届けるためにはどのような形でPRや啓発をしていけばよいか検討していきたいと思っております。

【熊本議員（座長）】

若いうちから健康づくりをすることによって、病院にかからず社会負担の減にもつながるため、とても大切であると思っておりますので、また取組を始めた際にはお知らせいただきたいと思います。

議題3「令和8年度 南区個性ある区づくり推進費の編成の考え方について」

【熊本議員（座長）】

他に発言もないようですので、次に「(3) 令和8年度南区個性ある区づくり推進費の編成の考え方」についてについてご説明をお願い致します。

《区長による説明》

【熊本議員（座長）】

永田地区のおでかけ号について、ご意見もいただいております、来年度の予算に支援策を入れていただけないか質問をさせていただきます。

永田地区おでかけ号が8月1日から運行開始されていますが、運行開始直後から、運行事業者より、狭くて曲がり角が多い住宅地を走ることと、安全面で怖い、というお声を伺っております。

私も実際バスに乗車し、また運行ルートを直接歩きましたが、自転車が猛スピードで通過してくる交差点や、一方通行の道路を逆走してくる自転車なども多く、確かにとても危険だなと感じました。土木事務所にカーブミラーの設置を相談しましたが、カーブミラーは4輪自動車対4輪自動車の安全性を確保するもので、付けることができないと聞いております。こちらは理解しましたが、運行事業者のドライバーから怖いというお声をいただいている以上、何も対策をせずに、事故につながってしまうことは避けなくてはならないと考えています。カーブミラー以外の方法で、安全対策をしてほしいと思っております。運行事業者の方からいただいたご意見の中で、道路に自転車のスピードの抑制を促すペイントや減速帯のようなものの設置や、運転席から見て左側からくる歩行者、自転車の確認が行いにくいいため、運転席から見て左側だけでも安全対策をしていただけないかといったものがありました。

また、バスの利用者が予想以上に多く、ダイヤに余裕がなくなっているという聞いております。私が交通事業に携わっていた際に、ダイヤが遅れてもいいから、まずは人の命を安全にと言われておりましたが、乗務員の責任としては、時刻通りに走らせるという気持ちを消せないところもあります。そのために事故が起こってしまうことも考えられますので、ダイヤを見直していただけないかと思っております。

また、秋から敬老パスが使えるようになり、敬老パスのICカードリー

ダーをワゴン車に設置するということですが、乗車時と降車時にタッチをしなければならないと聞いておりまして、社内での導線の工夫が必要と思っております。

これらについて、行政も事業者といろいろ話を重ねていると思いますが、私からも再度お願いさせていただきます。

【三縄 土木事務所副所長】

土木事務所は、道路管理者としてカーブミラーの件は先日ご説明した通りですが、一般的に交差点の明示について、例えば十字路であれば十字マーク、丁字路であれば丁の字を、白いペイントで行うことがあります。永田のコースは多くの交差点があり、すべての箇所につけることが現実的かとの視点でまた現地を確認したいとは思っております。またその上で、先生からは、「左側」というお話がありましたが、道路は、いろいろな方がいろいろな方向から走ってきますので、左側に限定せず、広く安全対策につながるような検討をしていきたいと考えております。

【黒田 区政推進課長】

土木事務所から説明があったことに加えて、ダイヤ及び安全対策について、安全な運行はもちろんのこと、地域の方が事故に遭わないようにしていくということも非常に大事であると考えております。現時点では1ヶ月程度の運行ですが、実際に走ってみると、検討段階とはまた違った課題が見えてまいりますので、そのようなご意見は区としてもしっかり受け止めて、都市整備局としっかり連携して、できる対策を考えてまいりたいと思います。特に、車両の改修での安全対策につきましては、事業者の負担に関わってまいりますので、ご意向も確認しながら、他にこういったことができるのかということも含め、都市整備局と連携しながら検討調整していきたいと考えております。

また、自転車の乗り方や、普段の交通安全、交通啓発等につきましても、区としてできることを引き続きしっかり、警察などとも連携を図りながら進めていきます。

貴重なご意見ありがとうございました。しっかりと地域の方をサポートしてまいりたいと考えてございますので、どうぞよろしくお願い致します。

【中野 地域振興課長】

自転車の話がありましたが、先ほど説明しました通り、啓発活動を行っていくとともに、南永田山王台地区の地域の方とも連携しながら一緒に進めていきたいと思っております。

【熊本議員（座長）】

いろいろな課や、局の方と連絡して、安全を守っていただきたいと思っております。私も交通事業で働いていたこともありまして、市民の皆様の足を守ることは本当に大事ではありますが、それ以上に交通事業をやったからには、安全というものが一番大切になってくると思っております。私も、安全の確保は輸送の生命であると教育されてこれまで働いてきたものですから、バスを通して地域の皆さんの足を確保したから終わりではな

く、確保したからこそ、皆様の命を守っていかなければならないという意識をしっかりと持っていただいて、引き続き事業を運営していただきたいと思います。

【熊本議員（座長）】

他に発言もないようですので、その程度にとどめたいと思います。 以上で、本日の議事は終了いたしました。